

CONTENTS

- 女子大、2学科開設(2面)
- 第10回G・M賞 新たに文部省などの後援(3面)
- 協定廃止後初の就職戦線~国際大、女子大・短大(5面)

GLOBAL MIND

グローバルマインド

発行/(学)大阪国際学園広報室
〒570守口市藤田町6-21-57
06(902)0787(代) FAX06(902)8961

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)
大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)
大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

編集手帳

▽琵琶湖から大阪平野を貫いて大阪湾に注ぐ75古の淀川。古来、ひとやものが行き交って文化が咲き、1400万人の喉を潤す。母なる川。だ。水質汚濁が進み、川から人影が遠のいた時期がある。皆が気にも止めなくなると悪化に拍車がかかり、いるのは人目を盗んで遊ぶ子供たちだけ。そして、水難事故が多発。いま、淀川には往古なみの歓声やざわめきが戻りつつある。全国初の国営河川公園の整備が進み、スパー堤防の整備で水面と川沿いのくらしが直結。この夏、釣りや水上スポーツ、河川敷の動植物観察にと、淀川はひとびとの交歓の場としてにぎわいそう。恐ろしくなく、よき理解のもと淀川の水に親しんでほしいもの。

長年懸案の情報・図書館棟建設へ(平成11年春完成)

女子大・短大1号館(東半分) 建替工事着手

大和田キャンパスの大阪国際女子大学・同短期大学舎である1号館の建替は長年の懸案だったが、諸条件が整ったことにより、東半分が最新鋭の情報図書棟(仮称)に生まれ替わることになった。春過ぎから植木の撤去移設や関連工事を進め、夏休み期間を中心に解体。次いで建替工事に入。平成11年3月末完成を予定。1号館鉄筋4階建は同キャンパスが開設された昭和37年に本館として建設され、東西に六角形の学舎(六角館)があり、「蜂の巣」教室として学生らの自慢だった。また、話題を呼んだ、ユニークな学舎の半丸が姿を消すこと。卒業生のなかには惜しむ声もあるが、女子大・短大の教学環境の飛躍的向上のため完成が待ち望まれている。

1号館東側半分は解体に伴う準備が進められ、8月から本格的に解体工事に入る。影響の最も少ない夏休みだが、クラブ活動の学生らに対しては、もちろん、近隣住民らにも最大限の注意を払いながらの作業になる。

解体カラの撤出のあと、11月頃から情報図書棟の建設に移る。計画では、地下1階、地上6階の鉄筋コンクリート造り、延床面積約6千平方メートル。外観は同キャンパス学舎の統一イメージに合わせたモダンなスタイル張り。施設的には身障者に十分配慮したものになる。

その内容と利用については、女子大・短大の学舎利用検討特別委員会委員長徳原康彦学部長が時間をかけて練りあげ、成案をまとめた。

それによると、地下は喫茶室(約90席)や多目的ホール(約100席)、1階はインフォメーションルームや国際交流センターが入居。インフォメーションルームは情報報にむき、最新情報システムを導入して多種多様な情報を学生に活用してもらう場となる。

2、3階は図書棟。大阪国際大図書館や地元守口市のムラ21図書館など他図書館ともネットワーク化する。4階は大教室(250~300人)取巻と中教室(100人前後)取巻が並び、そしてセミナー教室など。5階は運動指導室や栄養指導室、健康管理センター、相談室のほか、産学共同研究室もできる。最上階6階は和洋両室のゲストルームで、宿泊も可能。



情報・図書館棟の完成イメージ図



解体工事にとりかかった1号館東側半分

大阪国際大大学院 「総合社会科学研究所」設置申請 法学専攻・国際政経専攻で来春開設を予定

大阪国際大学は、政経学部を基礎学部大学院創設を検討してきたが、さる6月19日と27日に「総合社会科学研究所」の設置を文部省に申請した。法学専攻と国際政経専攻の2専攻で、来春の開設を予定。本学では既に平成5年に大学院経営情報学研究所修士課程、さらに同7年に修士課程に続いて経営情報学研究所博士後期課程を設置しており、今回の申請が認可されれば、政経学部にも蓄積された研究成果を基礎に、より高度な研究を実施する体制が整う。

今回の申請は、大阪国際大学で詳細に検討した線に沿い、学園将来計画準備室の大学院設置・編入学定員設置分科会(会長、高田 敏)大阪国際大学教授において審議した結果によるものである。

設置を必要とする理由は次のとおり。すなわち平成4年増設の政経学部は、社会科学の中心を成す法律、政治、経済にま

大阪国際女子大コミュニケーション学科 「社会コミュニケーション学科」に変更(来春)

大阪国際女子大学人間科学部は、今春の▽国際コミュニケーション学科▽スポーツ行動学学科の開設により、既設の▽コミュニケーション学科▽人間健康科学科と4学科構成になった。コミュニケーション学科は、教育内容や学生の卒業後の進路目標を明確にするため、平成10年度にカリキュラムの構成の若干の変更を予定。学科の性格を反映し、また、教育目標や教育内容をより適切に表現する学科名にするため、来春から「社会コミュニケーション学科」に変更する。国際コミュニケーション学科を「社会コミュニケーション学科」に変更する。国際コミュニケーション学科との併存による受験生や社会に対する混乱を避けるため名称変更の理由のひとり。また、国際コミュニケーション学科設置の審査時の要請意見「既設のコミュニケー

ション学科との違いを明確にも思えた。対象は新1年次生から、同大学では来春の学生募集用制作物や高校生徒への案内説明は、新しい学科名で展開している。

社会コミュニケーション学科の教育目標は、「人間関係や社会生活でのコミュニケーションの役割を理解し、適切に対応できる人材の育成」。そのため「コミュニケーションの基礎理解」や「現代社会の基礎理解」「社会におけるコミュニケーションの理解」等の科目群を設け、「コミュニケーションの理解」の分野も明確化した。この名称変更をもって、社会国際両コミュニケーション学科からなるコミュニケーション学群と、他の2学科からなるスポーツ健康学群の構成が明確になった。

大阪国際女子大の新学科開設

式典披露に先立ち書状で報告

学外関係者に約3,000通

大阪国際女子大人間科学部は、今春の国際コミュニケーション学科とスポーツ行動学学科の開設によって既設の社会コミュニケーション学科から来春変更予定)と人間健康科学科とで2学群・4学科構成に充実・発展。新学科開設に伴う女子大・短大の情報・図書館棟建設も平成11年3月に完成を目指して動き出した平成11年度が学園創立70周年にあたることなどにも鑑み、その際にあわせて新学科開設の記念式典を催すこととなった。新学科開設について、学校等関係先には挨拶状を送って開設を報告した。挨拶状は約3千通を送付。そ

の内容は、新学科の開設とその概要を報告するとともに協力に對しての御礼、さらに女子大の今後にかかる決意のほどなどで、7月上旬には送り終えた。

理事会が関係者招き 開設の労をねぎらう 学内にも新学科開設を披露

一方、常勤理事会では女子大の新学科開設に尽力した関係者を7月3日大阪市内のホテルに



新学科増設などの業務遂行報告を行う堀江分科会長(学長補佐)

招いてその労をねぎらう慰労会を催すとともに、学内向けに開設披露した。

招かれたのは学園将来計画準備室の三木正伸準備室長(常務理事)をはじめ学科改組・増設分科会の堀江淳之助分科会長(学長補佐)や女子大・短大の分科会委員、法人本部の職員ら22人のほか、女子大・短大役職者、各学長や校長らも出席し、約60人。学科改組・増設分科会の業務遂行報告のあと会場を移して慰労会が行われた。

国際大、ウランバートル国立大とも協定

国際大は、モンゴル人民共和国のウランバートル国立大学と、今年1月30日付けで協定を結び、交流を深めていくこととなった。これで国際大の協定校は13校になる。

直言



国際大手建築事務所「P&A」に実を語った 代表取締役所長 山本 冬彦

私達が初めて学園の設計に参加させて頂いたのは、昭和50年の短大幼児教育棟の時でした。当時の理事長は奥田政三先生で、常務理事が省吾先生(故前理事長)でした。その後大和田高校が移転新築、幼稚園が校方校地に新設され、その設計に携わったのは昭和51年でした。政三理事長はキャンパス緑化の大切さ、彫刻や壁画と建築との統合等を唱えられ、その方針は以後の学園の良き伝統として今も生き続けている。

幼稚園の設計時、私達は敷地の東寄りの府道近くに配置を提案しましたが、省吾先生は逆に一番奥に決定されました。今から思えば、当時すでに大阪国際大の構想があったのではないかと思われます。短大国際文化学科棟と奥田メモリアルホール棟の設計では、関西の女子大ではじめて十階建の高層建築となりました。

省吾先生には、アメリカのロチェスター大での広々とした芝生と緑あふれるキャンパス、煉瓦色の校舎群の印象が心に強く焼き付き、キャンパス造りの原

イメージともなりました。そして現に大和田キャンパスや大阪国際大学キャンパスでは、新築の建物は全て煉瓦色のタイルを貼り、大小の学園広場は緑の樹々や芝生、美しい草花で覆われています。なかでも設計を担当致しました国際大は、省吾先生永年の夢の結晶でもありました。同大学の今後、この思いや伝統を活かしていただきたいものです。

絵のように美しい街の伝統校

ローンセストン・チャーチ・グラマー・スクール(オーストラリア)

海外校紹介

《大阪国際大和田中・高》ローンセストン校は、ローンセストンの街にあり、そこはまさに人の手の入らない美しい自然で、快い温暖な気候に美味しい食べ物、豊富なタスマニア島にある、



タスマニア島の美しい自然と温暖な気候に恵まれたローンセストン校

絵のように美しい街です。人口は過密でなく、生活ぶりはあくせくせず、ゆったりとしています。近くに、タマー河があり、スキー場や湖が点在し、車で1時間以内で海にも行けます。

このような街の郊外にローンセストン校があります。1846年に創設され、最近では、1才の幼児を対象にする保育部・幼稚園から高等部まで相当数の寄宿舎生を含めて、約900名の男女生徒が在籍しています。

特徴の一つは、この学校の持つ家族的な雰囲気、これは地域や家庭と親密に結び付き、保護者は生徒の学校生活のあらゆる面への参加が呼びかけられ、小新聞や会合や社交親睦会などを通じて、学校の様々な実情を常に理解しています。キリスト教の教えも教育の理念の一つで、教会での礼拝は生徒たちに基本

的な生活の一面ばかりでなく、キリスト教の価値観と神に祈ることの大切さを育むためのものです。幼稚園と小学校の間に位置するプレップの段階から高校1年まで、授業として宗教の時間があります。学校の教育は、小中段階では、心身の調和的発達、社会性や芸術的創造力の涵養、最新のコンピュータを使った現代の科学技術への適応性を重んじ、なによりも「ほれをなくすための、各個人のレベルに合わせた幅広いカリキュラムを用意しています。中高段階では、学年が進むごとに1クラス25名から18名程度へと少人数になり、急激に変化していく現代の世界で、生涯学習を含めてあらゆる面に自信を持って対応でき、また大学入試やその他への進路への準備にも強い実績を有している伝統校です。

本校とは1988年に提携、以来相互に訪問し合って親善交流を深め、ことしも5月末から6月にかけて同校生徒・職員・校長8名が滞在しました。(大阪国際大和田中・高等学校 教諭 国際交流担当 高原正文)

大和田中・高の豪姉妹校 2校から16名が来校

大和田中・高では5月26日、オーストラリアの姉妹校、セントマイケルズ・カリーヂエイトとローンセストン・チャーチ・グラマー両校の生徒ら合わせて16人が来校し、吹奏楽部の合奏による歓迎式典が奥田メモリアルホールで行われた。朝の歓迎式典に続いて夕方には、馴れな



歓迎パーティーで挨拶する大和田中・高の関 榮義校長

日本での生活に少しも早く馴染んでもらおうとホストファミリーも参加しての歓迎パーティーが大学4号館のプラウジングルームで開かれた。留学生を代表してローンセストン・チャーチ・グラマーのAlice Walkerさんが「不安はありませんが、日本のことをできる限り多く学び、友達もたくさんつくりたい」と力強く決意を述べた。

滝井にも豪の2名

また滝井高校でもオーストラリアの姉妹校、ツリラック・カレッジから生徒2人が5月24日に来校し、6月21日までの約1ヶ月間、ホームステイをしながら授業を受けたり広島や東京を見学した。本校の留学生受け入れも例年実施されている。

留学生レポート

多くを学んだ「私の留学」

大阪国際女子短期大学 英語科 2回生 東 華代

半年間という短い期間の中で、様々な人々と出会い、多くのことを学びました。「世界で一番美しい都市(まち)」と呼ばれるパースでの留学生活は、私にかけがえのないものをたくさん与えてくれました。文化の違いに戸惑い、言葉の壁にぶつかり、それらを学んでいくのは、留学においては当たり前のことだけれど、自分の肌で感じて初めて勉強になることもたくさんあると思います。私の場合、パースという美しい都市(まち)に住めた事で、環境や自然について数多く考える機会が持てました。そしてそこでは、まるで止まったかの様にゆっくりと時間が流れ、皆がそれぞれ自分の時間を自分の物として過ごしていました。時間に使われるのではなく、時間を使うということも、私にとってはひとつの勉強でした。又、全てが勉強の中で、広大なファームに行き、カンガルーにエサをやったり、子羊を抱いたり、夏には、どこまで泳いでも底の白い砂が見える海へ、毎朝授業前に泳ぎに行ったりと、オーストラリアの自然を存分に満喫し、リラックスした時間を過ごすことも出来ました。今は、誰でもが海外へ行ける時代です。半年や1年留学していたからといって、特別視されるわけでもなく、自慢出来るものでもないと思っています。でも、同じ留学でも、必ず人ひとり違った経験をしているはずだし、その人にしか経験出来なかったこと、感じとれなかった何かがあると思います。私は、そういう事が、海外で学ぶ一番大きな、大切な勉強だと思っています。私自身は、留学したことで私にしか学べなかったことを学び、考え方も大きく変わり、人間的に大きく成長出来たと思っています。そして、私のこれからの人生にとって、大きな意味のあるものになると信じています。(’96年7月から’96年12月までオーストラリアの Edith Cowan University, ELICOS Centreに留学)

大学院の生活について

大阪国際大学大学院 経営情報学専攻科 2年次生 孟 方(モン ファン)

你好!私は中国から来た留学生です。日本語学校から大阪国際大学を経て、現在大学院生で、経営情報学を勉強しています。早いもので、日本に来て6年になり、その間に結婚し、一児の母になり、大学院生、主婦、アルバイト、子育てと毎日、充実した日々を送っています。大学院生になってから、院生専用の研究室やコンピュータその他たくさんの勉強に必要な設備が整っており、なによりも一流の先生方がたくさんおられ、素晴らしい授業を独り占めにして勉強や研究に励むことができるので、大変幸せです。学校の恵まれた環境を利用して、積極的に社会で調和のとれた国際人になりたいと、先生方のご指導をいただいて頑張っているところです。日本の伝統的な文化なども、留学生に対していろいろなテーマが開講され、さまざまなことを感じて、素晴らしい体験ができました。大阪国際大学、そして大学院での学生生活は、一中国人として貴重な体験ができました。自分の今後の生涯に、大きな影響を与えてくれました。[GLOBAL MIND]の理念をしっかりと覚え、21世紀に向けて、社会に役立つ人になりたいものです。大阪国際大学も世界をリードするように、いろいろな面で社会に対して開かれた情報発信と、市民のオアシスと成るように、留学生たちも頑張ります。(’92年4月国際大経営情報学部入学 ’96年4月から大学院生)



「第10回グローバルマインド賞」応募要項決定

本年から文部省も後援に

さらにホームページの開設も

真の国際人の育成を願って制定
本年で10回目を迎えた高校生論文コンクール「グローバルマインド賞」の応募要項が決定。6月上旬全国の高等学校に向けて、発送した。また19日には、毎日新聞紙上において全国向けの社告も掲載された。

大阪国際大学で生まれ、育てられた本賞は本学園の本部広報室に移管、さらに毎日新聞社をパートナーとして迎え、昨年958編もの応募を数えた。高等学校における国際化・情報化は21世紀に向けてのキーワード

新設の女子大スポーツ行動学科

なみはやドームで実習(三)

ゴルフ、陸上など 初心者から上級者も

新設の女子大スポーツ行動学科では、「スポーツ方法論・テニス実習」の授業が5月12日を皮切りに毎週月曜日、なみはやドーム(大阪府立門真スポーツセンター)で行われているII写真



実習には34人の学生が履修、大阪テニスアカデミーのインストラクター3人と同アカデミー所属の出村里代さん(女子大人健4年生)の指導で約3時間、なみはやドームのサブアリーナで行っている。また、「同・ゴルフ実習」の授業も4月から交野校地に整備されたゴルフ練習地で、テニス実習同様毎週月曜日に実施。

さらに情報化にも対応、「グローバルマインド賞」のホームページを開設。募集要項はもとより、昨年の受賞作品(10点)の全文掲載や論文に役立つリンク集の提供など盛りだくさんで、高等学校からのアクセスにも万全の体制を整えている。

- 応募要項は左記の通り
● テー マー「世界の中の日本と私」
● 応募資格 高校生(平成9年4月現在高校在学の方)
● 応募方法 作品は未発表のもので400字詰め原稿用紙5〜10枚程度。

- 大阪国際大学 研究基金奨励学生
国際大海外協定校長派遣留学生
福井三徳(松本裕樹)
▽山藤正樹(経情4)
▽塩尻優美(奥原有可子)
▽長谷川大(以上政経4)
▽大谷 彰(学年は表彰時のもの)

大阪国際学園 CALENDAR
大阪国際大学
7.29 第4回ハワイ大学マノア校英語研修旅行
9.11 前期追試験
9.16 集中講義・通年科目補講期間

大阪国際女子大学
大阪国際女子短期大学
7.10 コミュニケーション学科海外研修
9.10 追・再試験
9.16 集中講義・補講

大阪国際滝井高等学校
8.4 学習合宿
8.31 2年生修学旅行
9.1 始業式
9.13 オープンキャンパス

大阪国際大和田高等学校
大阪国際大和田中学校
9.1 始業式
9.14 オーストラリア、ジーロン・グラマースクール来校
9.20 文化祭

大阪国際大和田幼稚園
8.25 夏季保育
9.1 始業式
10.5 運動会

近年、小学校高学年から思春期にかけて、不登校、いじめ、家庭内暴力などの問題が顕在化してきている。これらの問題行動は、その年頃になっていく



毎週の自由参観日を新たに設ける

これからの社会は変化の激しい、先行き不透明な、厳しい時代と考えられる。そんななかで21世紀に生き抜くことのできる人間を目標とした人づくりを考えた

主体性、個性、豊かな心情を備えた子どもづくり

私たちは30数年にわたって培われて来た保育を生かしながら、新しい時代に対応した保育を実践し、未来を豊かに生きる園児の育成を志している。

敏明(岩本重寿美)▽北岸文雄(琴塚進)▽村田 健(坂口美也子)以上経情3)▽林 隆行(直子)▽尾出貴(大谷裕門)▽坂口洋子(吉田佳寿美)以上政経3)▽今中高俊(河内敬仁)▽小川重沙(佐々木界子)▽鈴木富士子(弓場大地)以上経情2)▽養護会奈爾(日下部伸行)▽村志子(中村武敏)▽大木聖士(田村真一)以上政経2)

国際大で初の TOEIC 団体受験
国際大で5月31日、初の TOEIC 団体受験が実施され、65人の学生が試験を受けた。

資格取得者紹介
国際大
TOEIC 団体試験(5月31日実施)
65人中400点以上は16人。

短大、大和田高の同窓会創立35周年の事業や式典
大阪国際女子短期大学の同窓会である羊帝会の総会が5月25日、本館6階会議室で行われた。

自然を生かし生かされた郷

農園 杉・五兵衛

移築酒倉で手づくり料理

国際大東側の住宅街を抜けた一帯に、約3.3ヘクタール余の山や畑を抱く農園、杉・五兵衛(枚方市杉貴谷1丁目951)。

採れたての山の幸を中心にした「手づくり農園料理」を味わい、



キャンパス周辺散歩



大阪国際大学(経営情報学部93年卒)
ダスキン垂水支店マネージャー
佐野 恵美子

自らを高め、サービス向上を

学生時代からあこがれていたダスキンに入社し、5年目になります。就職活動に励んでいた頃、「何が何でもダスキンに入社するぞ」と意気込んでおりました。面接の際に「何でもします!どこでも行きます!」と言いつつ、その通り、入社後様々なお仕事をさせて頂いております。

入社当初はレンタルモップ等の営業、2年目に害虫駆除のサービス、3年目から現在のおそうじ部門に就き、しばらく落ち着いています。それらの経験を通じて良かった事と言うと、ご提案の幅が広がったという事です。お客様に対しどの様なお役立てをさせて頂けるのか、様々な提案ができます。その中で感じたのは、サービスという形のない物を売るという事はとても奥深いことだと思いました。技術そのものは経験に伴い身につきますが、サービス業の本質は、サービスを通じて満足してもらおうという事だと思えます。そして、継続して満足いただく為には、サービスの質を高めなければなりません。それには、日々妥協せず自分自身を高めてゆこうとする努力が必要です。

以上、私自身まだ未熟者で恥ずかしいのですが、近況報告とさせて頂きます。

合掌

OB・OGレポート

私のサポーター



大阪国際女子短期大学(幼児教育科音楽コース97年卒)
カワイ音楽教室講師
竹本 奈津子

私は現在、カワイ音楽教室の講師として働いています。

音楽コースで学んだ2年間で随分成長しました。先生方の熱心な指導のおかげで、音楽を自分なりに感じ表現する力が身についたと思います。音楽コースの行事である定期演奏会や卒業演奏会に出演したことも私にとってプラスになりました。自分の演奏を聞いてもらうことにより一音一音を大切に弾くようになりました。そして、努力のかいあって、97年度「なにか芸術祭新進音楽家競演会」に推薦していただくことになったのです。こういう大きなコンクールに出演させていただき、これからの自分にまたとない経験となりました。

音楽教室での仕事は、ピアノ個人レッスンとグループレッスンです。私には29人の生徒がいます。ほとんどが小学生ですが、グループレッスンをしている子どもは5才児で幼稚園に通っています。短大で学んだことを活かして指導案を作成し、レッスンをしています。

私はピアノ教師になるのが幼い頃からの夢でした。夢を実現できたのも、短大で素晴らしい友達と先生方に会えたからだと思います。これからは子ども達に教えられながら、私自身も大きく成長していきたいと思っています。



① 静かな敷地内に山羊の声や鳥のさえずりが響く農園の一角。季節の花や果樹の実る庭を見渡しながらの食事は格別。

② 自然に触れることのできる観光農園で、国際大の教職員らもしばしば訪れるお薦めの場所だ。

この地で先祖代々数百年農業を営み、昭和47年に「杉・五兵衛」を創業した主人の堅島五兵衛さんは、

「ここは『農場』ではなく、『農耕の園』。生産の場であり、生活の場であり、育てる楽しさを味わい、情操、安らぎ、文化を

も含んだ農業の理想の姿を模索しています」と言い、農園全体に堅島さんの「農」に対するこだわりを見ることが出来る。

園内は、四季を通じて花々が咲き、春はタケノコ、初夏にはグミやスモモ、秋にはブドウ、ミカン、カキ、サツマイモなどが実る。全て無農薬有機栽培。山羊や羊を放して雑草を食わせるので除草剤も必要ない。食

国際大・女子大・短大が各地で入試説明会

キャンパス見学会

OIUは10月25日に開催
女子大・短大は9月14日

大学・短大の入試状況が大きく様変わりするなか、大阪国際大と女子大・短大入試室は、前年度入試の分析・反省と高校の動向を勘案しながら新年度入試の対応を検討して戦略・戦術を樹立。これに基づいて春から早

速に始動した。

5、6月は主に大学案内を持つ参りして高校を訪問、6月から7月にかけては高校訪問のかたわら京阪神や西日本を中心に大学説明会を催した。国際大は6月16日、石川県の高校・予備校を

2年連続全国大会へ 府囲碁大会優勝の山本浩世さん



大和田高校 2年生の山本浩世さんが5月11日、大阪

市北区の日本棋院関西総本部で行われた「第21回大阪府高等学校囲碁選手権大会」で、見事優勝を飾り、昨年に続き2年連続の全国大会出場を決めた。

昨年は残念ながら出場を辞退した山本さんだが、全国でも有数の実力者で今大会も優勝候補の一人。昨年の悔しさを晴らすためにもぜひ頑張ってもらいたい。

シンクロJR世界選手権へ 大先輩・友松さんにつづく快挙



野村麻理さん

シンクロナイズド・スイミングで活躍の野村麻理さん(3年生)が、財団法人日本水泳連盟から「第5回FINAシンクロジュニア世界選手権」の代表選手に選考され、6月29日から7月2日、ロシアのモスクワで開催された同選手権に出場した。

野村さんは水泳部に所属し、

クラブ活動

全国大会は、7月28日から30日までの3日間、東京の市ヶ谷日本棋院会館で行われた。

国際大 サッカー部
4月15日 第7回関西学生サッカー春季リーグ3部Bブロック 優勝(3部順位決定戦に出場し、各ブロックの1位トナメントにおいて3位となり2部に昇格)
4/13 15/25 7部リーグ戦 全勝優勝(入れ替え戦に勝利し6部昇格)
ワンダーフォーゲル部
5/25 第2回アキレス淀川ダウナー大会ラフト4人乗り男子部 優勝
女子大・短大 少林寺拳法部
6/1 大阪府民体育大会混合

2年連続で全国ジュニアオリンピックチームの部で優勝するなど、数々の輝かしい成績を残している。代表選手に選ばれたのは今回が初めてだが、これまで代表チームの強化合宿等に参加するなど実力は充分。

滝井高校には野村さんのほかにも世界の舞台で活躍した大先輩選手がいる。昭和60年に第39期生として当時の帝国女子高校に入学した友松悦子さん。3年生の時に、ナショナル代表チームに選ばれ、スペインで行われたシンクロ国際大会に出場、見事に優勝を遂げている。

わたって開催。

また、例年実施されているキャンパス見学会が今年も行われ、国際大は10月25日の午後1時から4時、女子大・短大は6月21日に続き9月14日の午後0時から4時に2回目の見学会が実施される。キャンパス見学会では、どちらも施設見学はもちろん、入試相談や就職相談などを予定。

学校祭に大歓声

滝井高等学校

滝井高校で6月13、14日の2日間、学校祭を開催。幸い両日も好天に恵まれ、校内中に歓声がとどろいた。「みんなの学校祭」をテーマに13日は、恒例のクラス別コーラス大会があり、流行の歌や楽器演奏を披露した。14日は各クラブによる展示や舞台発表があり、また有志によるフリーマーケットも開かれた。

一昨年までは「文化祭」と称して秋に行われていたが、昨年から「学校祭」と名称を変えてこの時期に実施。

今年も病原性大腸菌「O157」発生の危険を考慮し、お好み焼きやたこ焼きといった食べ物の模擬店を差し控えた。

学校祭に先立ち、6月12日には体育大会が開かれた。

の部 最優秀賞 片山正美(女子大コミ4)、一般女子二段の部 優秀賞 柿本あゆ美(同人健4・伊藤友実(同コミ4)組) ソフトボール部
4/27 15/4 第29回春季関西学生1部リーグ 3位
テニス部
5月 関西学生春季トーナメント女子シングルス ベスト8
ダブルス(短大国際1)、女子ダブルス ベスト4 足立守世・山田恵都子(同家政1)組
バレーボール部
4/27 16/1 関西女子大学春季1部リーグ 7位(6/15の入替戦で関西外大に勝ち1部残留)
滝井高 ソフトボール部
4/20 15/11 インターハイ予選 ベスト8(近畿大会出場)
バレーボール部
6/1 1/22 インターハイ予選 ベスト4(近畿大会出場)
フェンシング部
3/29 30 第13回全国高校オリンピック 4位
5/10 11 平成9年度近畿高等学校選手権大会個人対抗戦 5位 石川寛子、7位 井路端綾(以上3年)
6/8、15 インターハイ予選個人戦(フルレの部) 2位 宮村美紀(2年)、個人戦(エペの部)優勝 道端亜由美(2年)(宮村、道端はインターハイ出場)
大和田高 ソフトボール部
4/20 15/11 インターハイ予選 ベスト8(近畿大会出場)

ヘッドラインニュース

- 3/12 女子大・短大 軽音楽部「卒業ライブ」
- 3/13 女子大・短大 非常勤講師と専任教員との懇談会
- 3/17 滝井高 吹奏楽部「第4回ニューサウンドコンサート」(森ノ宮青少年会館文化ホール)
- 3/24 学園 平成8年度教職員表彰式、女子大・短大 堀江淳之助学長補佐を表彰
- 4/3 国際大 平成9年度非常勤講師との合同懇談会
- 4/14 女子大・短大 協定校の遼寧師範大学から、梁 啓昆副学長と于 秀臣外事処処長、関 春影外事処通訳の3人が来学
- 4/16 大和田中・高 防災訓練
- 4/19~2/21(平成10年) 国際大 ホストファミリー対象の大学教養講座
- 4/21~5/9 女子大・短大 就職室が「自分のためのバリューアップ」講座
- 4/23~25 女子大・短大 文化部発表会「桜花祭」
- 4/24~25 女子大・短大 「就職活動にさいしてのマナー講習会」
- 4/26 大和田高 3年対象「進路講演会」(河合塾 船津昌巳氏・竹内浩氏、YMCA 余田哲男氏)
- 4月 国際大 元経営情報学部教授の降旗武彦名誉教授、春の叙勲で勲三等旭日中綬章を受章(教育研究功勞)
- 4月 短大 「ニューヨーク工科大学英文通信教育」16名の学生が受講
- 5/8~29 女子大・短大 パソコン初級講座(毎週木曜日4回)
- 5/10~6/28 国際大 春期枚方市民大学講座(枚方市教育委員会社会教育課主催)
- 5/11 国際大 吹奏楽部が関西吹奏楽連盟結成60周年記念の「BRASS EXPO'97」に参加
- 5/20、23 国際大 平成9年度夏期(短期)海外研修募集説明会
- 5/21 女子大・短大 就職室「知って得する!時事問題講座」
- 5/22 女子大 人間健康科学科3年生対象「企業研修に関する説明会」
- 5/24 大和田高 OG懇談会、38名の先輩が出席
- 5/26 国際大 研修中の仏エッセック大留学生25人、意賀美神社(枚方市上之町)で日本文化体験
- 5月 学園 学園理事の藤井兼六氏が、知事表彰(国際交流部門)個人の部を受賞
- 5月 女子大・短大 異文化コミュニケーションセンター「TEACHING ASSISTANTS」を実施(5/15から7/17までの木、金曜日)
- 5月 大和田高 3年生の堤 恵理さん「紙上書道春季大阪展(読売新聞大阪本社主催)」で三席入賞
- 6/3 女子大・短大 国際文化学科「航空業界論」講演会、講師にルフトハンザドイツ航空マネージャー山下謙次氏
- 6/4、5 女子大・短大 平成9年度夏期海外研修説明会 実施
- 6/5~19 女子大・短大 インターネット体験講座(毎週木曜日3回)
- 6/6 短大 幼児教育科1年生対象「人形劇団クララテ」を招いて実技研修
- 6/12 女子大 後藤四男名誉教授ご逝去
- 6/18 国際大 OIU留学生友好パーティ開催~新入生を囲んで~
- 6/23 大和田中・高 芸術鑑賞~狂言・落語鑑賞
- 6/24 短大 川北兵藏名誉教授が、リンパがんのためご逝去
- 6/26 国際大 平成9年度第1回人権教育講演会開催、講師に大中有信政経学部講師(テーマは「カード破産について~多重債務をめぐる法的問題~」)
- 6/27 短大 幼児教育科の中川保子講師が「鳥之内きらめきコンサート」を企画・出演
- 6月 女子大 立命館大学法学部社会人学生の松尾博美さん、(女子大家政学部 昭和58卒)大阪新聞(6/3付)に掲載
- 6月 滝井高 黒鷲旗第8回全日本都市対抗9人制バレーボール男女優勝大会(毎日新聞社、日本バレーボール協会主催、6/5~)に、今年3月に卒業の久堀志穂さんが守口市(松下電池工業)の選手として出場
- 6月 短大 家政科の河野真由美術助手が「管理栄養士の国家試験に合格

平成10年度 入試日程 学生・生徒募集要項

選考種別	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期間
大学院修士課程	一次	平成9年9月8日(月)~9月18日(木)	9月27日(土)	10月3日(金)~10月14日(火)
	二次	平成10年2月5日(木)~2月12日(木)	2月20日(金)	2月24日(火)~3月3日(火)
大学院博士(後期)課程	平成10年2月5日(木)~2月12日(木)	2月20日(金)	2月24日(火)	2月25日(水)~3月3日(火)

選考種別	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期間
推薦入試	指定校推薦	平成9年11月4日(火)~11月17日(月)	政経学部 11月26日(水) 経営情報学部 11月27日(木)	12月9日(火) 12月10日(水)~12月17日(水)
	一般推薦A・B			
留學生入試				
一般入試	一次	平成10年1月8日(木)~1月23日(金)	政経学部 2月5日(木) 経営情報学部 2月6日(金)	2月18日(水) 2月19日(木)~2月25日(水)
	「センター試験」選考	平成10年1月13日(火)~1月27日(火)	独自試験は行わない	
二次	平成10年2月19日(木)~3月3日(火)	政経学部 3月11日(水) 経営情報学部 3月12日(木)	3月18日(水)	3月19日(木)~3月25日(水)
留學生入試				

選考種別	出願期間(必着)	選考日	合格発表日	入学手続期間(必着)
推薦入試	特別推薦入試	平成9年10月31日(金)~11月7日(金)	11月10日(月)	11月13日(木)~11月17日(月) 11月28日(金)
	一般推薦	平成9年10月31日(金)~11月10日(月)	11月12日(水)午後 11月13日(木)午後	11月20日(木)~11月21日(金) 11月28日(金)
留學生入試	一次	平成9年10月31日(金)~11月7日(金)	11月10日(月)	11月13日(木)~11月17日(月) 11月28日(金)
	二次	平成10年1月19日(月)~1月29日(木)	2月5日(木)	2月12日(木)~2月13日(金) 2月20日(金)
一般入試	I期	平成10年1月19日(月)~1月29日(木)	2月5日(木) 2月6日(金)	2月12日(木)~2月13日(金) 2月20日(金)
	II期	平成10年2月16日(月)~2月25日(水)	3月2日(月) 3月3日(火)	3月8日(日)~3月9日(月) 3月16日(月)
留學生入試				

選考種別	出願期間(必着)	選考日	合格発表日	入学手続期間(必着)
推薦入試	特別推薦入試	平成9年10月1日(水)~10月9日(木)	10月14日(火)	10月21日(火)~10月29日(水)
	奨学生入試	平成9年10月31日(金)~11月10日(月)	11月12日(水)	11月20日(木)~11月21日(金) 11月28日(金)
留學生入試	一次	平成9年10月31日(金)~11月10日(月)	11月12日(水)午前 11月13日(木)午前	11月20日(木)~11月21日(金) 11月28日(金)
	二次	平成9年10月1日(水)~10月9日(木)	10月14日(火)	10月21日(火)~10月29日(水)
一般入試	I期	平成10年1月19日(月)~1月29日(木)	2月3日(火) 2月4日(水)	2月12日(木)~2月13日(金) 2月20日(金)
	II期	平成10年2月16日(月)~2月25日(水)	3月2日(月) 3月3日(火)	3月8日(日)~3月9日(月) 3月16日(月)
留學生入試				

選考種別	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期間
大阪国際滝井高等学校	アカデミックコース(標準) グローバルコース(国際) エクセレントコース(特選)	平成10年1月26日(月)~1月31日(土)	2月5日(木) 2月6日(金)	2月9日(月)~2月16日(月)
大阪国際大和田高等学校	普通コース 英数コース	平成10年1月26日(月)~1月31日(土)	2月5日(木) 2月6日(金)	2月9日(月)~2月12日(木)
大阪国際大和田中学校	一次	平成10年1月7日(水)~1月13日(火)	1月15日(木)	1月17日(土)~1月20日(火)
	二次	平成10年1月16日(金)~1月24日(土)	1月25日(日)	1月27日(火)~1月29日(木)
大阪国際大和田幼稚園		平成9年10月1日(水)	10月3日(金)	10月4日(土)~10月7日(月)

入試要項の主な変更点 国際大一般推薦入試Bを拡大

文化活動・生徒会活動加わり5分野

国際大は、推薦入試選考で特定の資格等を有することが出願要件の一般推薦Bで、昨年まで(簿記)、(情報)、(スポーツ)の3分野だったのが、今年度から新たに「文化活動」、「生徒会活動」の2分野が加わった。

〔文化活動分野〕は、別に定

誓約書求める企業対応に、何でも相談室 企業訪問の成果か 新規求人多し

就職協定がなくなり、企業の採用活動は約1ヶ月早まった。これまで翌年3月頃にならないと就職準備に入らなかった本学学生も、協定廃止が噂された12月頃には、盛んに就職室に入ったりし、質問をしてきたり資料を読んだりするようになった。

第1回就職ガイダンスの時期は、例年とほぼ同じ11月20日であったが、協定廃止が決まると臨時ガイダンスを開いて、学生の機敏な対応を促した。例年より早く、模擬テストや自己分析、マナー、履歴書の書き方の講座を実施したこともよかったかも

3月から合同セミナーが大阪OBPなどで開催され始め、いっきに就職シーズン入りした感があつたが、4月に入ると各新聞が採用大幅増を報道したので学生は落ち着きを取り戻し、合同セミナーでは大手にのみ学生が集まり、中堅企業のブリスは閑古鳥が鳴くようになった。

4月後半になると、会社説明会・採用選考が盛んに行われ、早々と内定を出した企業は、拘束する目的で誓約書の提出を求めるところが多く、就職室でこれに対応するために開いている

協定廃止後初の就職戦線 楽観を許さない短大生 新学科増設で女子大生指導体制へ

就職協定が廃止され、氷河期に続いてどのような就職戦線になるかまだ見当がつかないこの時期に就職室長を命ぜられ、大変緊張していますが、長年の商社マン生活から大学教員に転身したことを含め何度か新しい仕事に適應した経験を生かし、重責を全うしたいと思っております。

さしあたる課題は協定廃止への対応です。まだ十分に読みきれませんが、早期化・長期化・多様化の傾向ははっきりと出ている都道府県レベル以上の大会、コンクール等で団体2位、個人3位以上の成績を取った者、(生徒会活動分野)は、生徒会会長または体育祭・文化祭の実行委員長を務めた者。

「何でも相談室」には毎日10人位の学生が訪れている。本学の求人票受付数は6月17日現在、1,298件で昨年同時期比2.1倍となり、その内338件は新規求人である。就職スタッフが繰り返し行った企業訪問の効果が現れてきたように思える。

6月一杯で選考、内定連絡の最初のピークは終わった。重複内定が多い今シーズンは学生・企業相方にとって長い長い夏となるであろうが、当室では、今年こそは就職レベルの向上を期待し、粘っこい活動を指導し続けていく。

大阪国際大学 就職室長 田中祥夫

女子大・短大の選考日 「推薦・一般」が選択可能に

女子大・短大の選考日は国語のみでも受験

選考日が2日あるうちのどちらかを選択できるようになった。

中期的な課題としては、今回大学に学科が新設され定員が増えたので、従来の短大生重点の指導体制から、大学生の支援を更に充実する方向の戦略を展開したいと考えています。また、中堅企業や大阪周辺地区の求人先開拓にも注力します。

大阪国際女子大・短大 就職室長 近藤 徹

また、奨学生入試選考において昨年度は女子大国際コミュニケーション学科とスポーツ行動学科で行われていた「奨学生入試選考」が、大学・短大の全学科で実施されることになった。

受験科目の変更では、女子大国際コミュニケーション学科が国語だけでも受けられる。

梅棹忠夫先生の

喜寿を祝う



今春から大阪国際女子大学の学術顧問に就任された元国立民族学博物館長で現顧問の梅棹忠夫先生が、このほど喜寿を迎えられた。そこで女子大の藤木高嶺教授が発起人代表になって6月14日、吹田市の料亭で内輪だけの宴を催して祝意を表わした。

梅棹先生は民族学を退かされてからも、学界に限らず幅広く関西を代表するリーダー。学園の高校生対象論文コンクール・グローバルマインド賞の審査員も、の長寿とご活躍を祈念した。

向学心溢れる社会人女性に大学の科目を受講できる場を設け、単位認定も行う科目等履修生制度。平成5年度より女子大・短大に設けられ多くの人が受講されている。自分の都合に合わせて、好きな科目だけ選べる。毎年主婦やお勤めの方などが学ばれ、在学生にもよい刺激になっている。

好評の女子大・短大科目等履修生制度 本年後期生募集

履修期間 後期10月～平成10年1月
出願期間 8月18日(月)～22日(金)
選考方法 原則として書類選考
費用 入学検定料5,000円、履修料 1単位1万円
講義科目 1単位1万円
演習・実技科目等 1単位2万円
問い合わせ先 大阪国際女子大学・短期大学 教務課
〒570 守口市藤田町 6-21-57
TEL 06-9021-0791 (代)

「われがらの私学のあり方」について講演と討論

浅田先生を迎えて



急速な少子化の一方で文部省の規制緩和も進むなか、今後の私学のあり方がいま、真に問われている。本学の今後の充実・発展を考える上で参考にした。大阪国際女子大・短大では6月12日、私立学校教職員共済組合の浅田敏雄理事長(前大学設置・学校法人審議会会長)を迎えて「われがらの私学のあり方」と題して講演会とパネルディスカッションを行った(法人本部後援)。

学校法人審議会長に就かれていて文部省の大学行政をリードしてこられた。浅田氏は、大学設置基準が弾力化され、大学ごとの個性ある教育システムが組めるようになった平成3年以後の規制緩和の流れを自らのかわりのなかで紹介。

しかし、現在最も問題なのは少子化への対応で、短大は1、2年後、4年制大学も10年後に全入入学の時代が到来すると指摘。その時、教授会中心の従来型管理運営は到底無理で、教学と経営の持続的調和が望ましいものの、その実現は難しいと強調された。アメリカもかつて18才人口の激減期を経験したが、それを乗り越えたのは「教職員みんなの危機意識だった」と紹介された上、本学も「21世紀に向け

人気パーソナリティー・対馬京子さん

(帝国女子大学家政学部卒)

中学時代に惹かれた道一筋でリスナーの心をつかむ



ひと

「ラジオのパーソナリティーになりたい」と決意したのは中学時代。当時、AMラジオのデイスクワイヤーとして知る人ぞ知る若宮ていこさんに憧れ、この世界に惹かれた。

帝国女子大学 現大阪国際女子大学を卒業後、タレント事務所に就職し、ラジオやテレビのパーソナリティーとして活躍している対馬さん。「テレビよりラジオのほうが大好き」という彼女は、現在レギュラーとしてラジオの生放送2本を担当。つばは土曜夕方6時から8時のMUSE MI(XFM大阪)、もう一つは日曜朝の8時から9時のサンデーチューンナップKYOTO(KBS)。パーソナリティーを務めてFM大阪は1年ちよつと、KBSは2年になりプロデューサーも手掛ける。「リスナーとのやりとりを大切にしている」というように、放送中は応援などのFAXがたくさん届く。「毎日がネタ探しで、プレッシャーも大きいやりがいがある」と目を輝かせる。

帝国女子高校(現大阪国際滝井高校)時代には文化祭などの司会、帝国女子大学在学中は1年間アナウンススクールへ通い、アルバイトでラジオやテレビのレポーターを経験、腕前を積んだ対馬さんだが、ここまで活躍するまでにはそれなりの苦労があった。大学卒業後5年くらいは結婚式の司会などのアルバイトで過ごす日々。それでもつづつ仕事に精一杯励んだ。「仕事がなくても、やめようと思ったことは一度もない」と当時を振り返り笑顔で話す対馬さんも、大学4年生の就職活動時にはさすがに迷ったという。対馬さんのようなパーソナリティーを目指しているのは京都、大阪だけでも1000人程がおり、実際職業として活躍できるのはごく僅か。それまで応援してくれていた両親もこの時ばかりは大反対。「他の仕事もチラと考

ソナリティーを務めてFM大阪と二度と出来なくなる」と反対を押し切り、意志を貫いた。下積みを経験したが、今では関西を代表する人気ぶり。反対していた父親も彼女の出演している番組は欠かさず録音するという「タレント・対馬京子」の大FAN。「毎日が忙しいが楽しくて仕方がない」と話す対馬さんの趣味はバス釣り、ドラム、サッカーと多彩。中でもバス釣りは仕事の関係で始めたのが、今ではプロが認めるほどの腕前で50センチの大物を釣ったことも。そんな好奇心旺盛の彼女の野望は、AMラジオの深夜放送の司会を務めること。それは、おしゃべりが中心でリスナーが中・高校生中心。彼らの良き相談相手になれればと思い、チャンスの訪れを心待ち。「結婚してもパーソナリティーはずっと続けたい」。生き生きとした眼差しで話す対馬さんの目標は「関西の女・浜村 淳になること」。今日も明るく元気な声が、リスナーに届く。

(株式会社オフィスCJHK所属)



『近代大阪の企業者活動』

作道洋太郎編

(大阪国際大学 経営情報学部教授)



思文閣出版

(4,800円・A5判・410頁 平成9年4月発行)

(評者 大阪国際大学 経営情報学部助教授 相葉 公一)

本書を読み初めて社会に出た頃をまざまざと思い出した。大阪、北浜のある都市銀行の支店に配属され毎朝通勤する道すがら、近代的なビルと昔ながらの古めかしい建物が混在している街並みに、東京とは趣の異なる歴史の重みを感じたものである。

ルが左にそびえ建っている。様々な業種の中小企業を目にしながらさらに進むと、やがて堺筋に達する。界限には北浜の証券会社群(総合

二越)そして製薬会社群など、いずれも歴史を持った企業群が、ひしめき合っているのであった。

史(ミネルヴァ書房、共著)であった。当時から17年たち、今回出版された本書は、そのころ私が知りたかった大阪会社企業に焦点を当てている。懐かしく思い出される上記の企業群のほとんどをカバーしており、大阪の自由な経済活動の伝統と、今に伝わる企業家精神とを描き出している。